



第36回 ISO 審査登録センター・判定委員会（6月28日）

議題（1）前回議事録の確認後、議題（2）三報ゴム株式会社・サーベイランス及び臨時サーベイランス（登録の拡大）について審議し、品質マネジメントシステムが JIS Q9001:2000/ISO 9001:2000規格要求事項に適合と判定した。

第137回水道技術管理者協議会（7月17日）

水道用鉄蓋等の規格改正、水道用塗覆装鋼管外面被覆の規格改正、水道用ステンレス製サドル付分水栓等の規格制定及び改正、水道施設の事故事例集（仮称）の作成、指定給水装置工事事業者制度の運用等に関する専門委員会の設置、水質に関する最新情報などについて報告を行い、それぞれ意見交換を行った。

平成19年度未納料金対策実務研修会（東京第1回）（7月19日～7月20日）

水道事業及び賛助会員の主に料金徴収業務に携わる方々64名の参加を得て、未納料金対策について実務を中心とした研修会を実施した。

また、グループ別のディスカッションに於いては、活発な情報交換が行われた。

第2回水道料金制度特別調査委員会（7月24日）

議題「逓増型水道料金制度」について審議を行い、最低単価についての言及を検討するなど、逓増度を緩和していく方向性を打ち出した。ただし、現行「水道料金算定要領」に記載している「逓増料金制の設定基準」については、抜本的に変更する状況にはないとされた。

第856回会誌編集委員会（7月30日）

本誌8月号、9月号の編集方針、投稿原稿の審査、並びに本会会長表彰有効賞の候補論文について審議した。

第19回水道 GLP 認定委員会（7月31日）

株式会社 総合保健センターの水道 GLP 認定について審議を行い、審議の結果、水道 GLP 認定を決定した。



水道 GLP 認定証授与式（7月31日）

水道 GLP 認定委員会で認定が決定した福山市水道局工務部水質管理センターの認定証授与式を日本水道協会専務理事室において行った。



第1回指定給水装置工事事業者制度の運用等に関する専門委員会（7月31日・8月1日）

はじめに、委員長の選出を行い、藤村東京都水道局給水部貯水槽水道対策担当課長が就任した。

審議事項については、これまでの経過を報告し、指定給水装置工事事業者制度の研修に関する取扱要綱、指定給水装置工事事業者制度の違反行為に係る事務処理要綱と処分基準、研修テキストの作成などについて審議した。

第17回検査施行要項等専門委員会（8月1・2日）

第1日目は、(株)G&U 技術研究センターを視察し、水道用円形鉄蓋及び水道用角形鉄蓋の試験方法等について確認を行った。

第2日目は、以下の議題について慎重審議を行い、①及び②については、次回検査事業委員会に諮ることとなった。

また、③及び④については、更に引き続き検討をしていくこととなった。

- ① 日本水道協会水道用円形鉄蓋及び角形鉄蓋検査施行要項の改正について
- ② 日本水道協会水道用ジョイントコート検査施行要項の改正について
- ③ 検査証明書に関する制度の改正について
- ④ 検査制度の効率化に関する検討について

第169回常任理事会（8月2日）

副会長の浅利豊中市長が議長となり、はじめに報告事項1「新潟県中越沖地震に係る対応等について」、報告事項2「指定給水装置工事事業者制度の運用等に関する専門委員会の設置について」の2件について、提出した資料に基づき事務局より詳細な説明を行い、報告のとおり了承された。



続いて議案の審議に入り、第1号議案「平成18年度日本水道協会会計決算について」、第2号議案「平成20年度日本水道協会会計予算編成について」の2件について事務局から諮り、慎重審議の結果、原案のとおり決定した。

第37回 ISO 審査登録センター・判定委員会（8月3日）

議題（1）前回議事録の確認後、議題（2）タイフレックス株式会社・サーベイランス、議題（3）株式会社塚原産業・サーベイランスに対する判定について審議し、2組織の品質マネジメントシステムが JIS Q9001:2000/ISO 9001:2000規格要求事項に適合と判定した。

JIS マーク表示制度認証授与式（8月3日）

（株）オンダ製作所関工場に関する初回認証判定について、熱間内圧クリープ試験を含む全試験が終了し、その結果適合と判定され、JIS 製品認証マーク表示制度・認証書授与式が行われた。



授与式写真